

# 1年生

教科	成果	課題	重点取り組み
<p>国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>字形や書き順に気を付けて平仮名を書くことができるようになった。</li> <li>挿絵をもとに文章を読み、自分の体験を結び付けて意欲的に考えを表現できた。</li> <li>音読では、音やリズムのおもしろさを味わいながら読む姿勢があり、音読劇にも意欲的に取り組んでいた。</li> <li>簡単な文章の書き方を学習し、短文や日記などが書けるようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「は、を、へ」や促音、拗音や句読点を正しく表記する力を身に付けること。</li> <li>◎読んで理解する力の個人差が大きいこと。</li> <li>・興味をもって話を聞くことはできるが、内容を正確に理解し、内容に合った質問をすることができるようになること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や宿題等で作文する機会を多く取り入れる。</li> <li>・家庭での読み聞かせの啓発と、毎日の音読や、馬二タイムでの朝読書をすすめていく。</li> </ul>
<p>算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数に対して興味をもち、日常生活の中で数を数えることを積極的に行う様子が見られた。</li> <li>・具体物や絵を見ながら問題を読み取り、立式することができるようになってきた。</li> <li>・計算カード練習を奨励し、たし算、ひき算の定着を図った。簡単な加減計算は多くの児童が早く正確にできるようになった。</li> <li>・具体物の操作や図などを活用しながら、筋道を立てて考えを進める経験を積ませ、自力解決できる児童が育ってきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎具体物や、図、式などを使って、順を追って考えを進めたり、自分の考えを適切に表現したりする力に、個人差が大きい。助言や支援の必要な児童が多い。</li> <li>・問題を一人で読み取り、自力解決することに課題がある児童がいる。</li> <li>◎これまでの数に対する感覚や経験の差が大きいため、問題を理解し演算決定するまでの時間の差が大きいこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を操作して理解を深めたり、図や式で問題場面を表したりする機会を多く設定する。助言や支援によって、自力解決する経験を積ませていく。</li> <li>・日常の場面を想定させ、数に対する感覚を身に付けさせる。</li> </ul>
<p>生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝顔への水やりを毎日欠かさず行い、その成長を喜ぶ姿がたくさん見られた。</li> <li>・朝顔の観察記録を書く視点を、国語の学習と連携しながら学ばせることができた。</li> <li>・幼稚園や保育園の幼児との交流の際、園児を楽しませることを目当てに遊びを考えたり、準備をしたり、友達と協力できていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見たことを絵や文章に表す力がまだ十分育っていない児童がいるため、観察記録を書く力の個人差が大きいこと。</li> <li>◎幼児との交流の際に、相手が分かるように、伝えたり教えたりする技術がまだ十分身に付いていないために、うまくいかなかったと難しさを感じ取った児童が多くいた。次への意欲につながるよう助言している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児との交流を学期に一回設定し、相手を笑顔にすることを目標に準備をしたり、当日の説明や案内をしたりさせる。実施後うまくいったこと、うまくいかなかったことを振り返り、次の会への目標をもたせる。幼児との交流を通して相手を喜ばせるために活動する良さに気付かせる。</li> </ul>
<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて、楽しく体を動かしたり、リズムうちをしたりすることができた。</li> <li>・楽曲を聴いて感じたことを、言葉や体で表したり、曲全体を味わって聴いたりすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音色や奏法に気を付けて旋律楽器や打楽器を演奏することが課題である。</li> <li>◎曲想を感じ取って表現を工夫したり、どのように歌うかについて思いをもったりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容を深く読み取り、情景や作詞者・作曲者の思いを想像させたり、曲を聴いて感じ取ったことを自由に発表し合ったりする活動を大切にしていく。</li> </ul>

<h1>図工</h1>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料から発想をどんどん広げて、楽しく制作活動や、造形遊びに取り組める児童が多い。</li> <li>・作品を見合った時に、良さや工夫に気付く児童が多い。</li> <li>・材料や道具などの用意、使い方、後始末などを、自分でできることが増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎発想や、構想には個人差があり、自分の思いを形に表すことに自信がなく、なかなか制作に取り掛かれなかったり、人の真似をしてしまったりする児童が見られる。</li> <li>・失敗を恐れず、作品を自分の考えたように最後までやりきる力を身に付けさせること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作の過程の中で、個々の児童へのひらめきや表現を肯定的に受け止め、称賛する声掛けをすることにより、成功体験を積み、「自分らしさ」への自信につなげていく。</li> </ul>
<h1>体育</h1>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動経験の少ない児童に、校庭の遊具やいろいろな用具を使い、いろいろな運動を経験させた。繰り返し取り組むことにより、それぞれの技能を高めさせることができた。</li> <li>・運動に対する興味関心が強く、学習したことを休み時間にも練習し上達していく児童が多く見られた。</li> <li>・場や活動を工夫し、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わいながら、互いのよい動きを学び合い、運動経験を積ませることができた。</li> </ul> <p>(・チームを作って行うゲームで、ルールを理解し、友達と協力して楽しむことができるようになってきた。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎運動経験の個人差が大きい。運動経験が少ない児童の中で、恐怖心からなかなか助言を受け入れられない児童は、技能の上達が難しかった。</li> <li>・決められた時間の中で、十分な運動ができるよう、授業の流れを工夫し、運動量を確保すること。</li> <li>・きまりを守って取り組む意識をもつことに課題のある児童がいる。</li> </ul> <p>(・運動経験が豊かで、動きの工夫や広がりを考えられる児童が少ない。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間の外遊びの推奨を徹底していく。教師も共に活動し、運動経験の少ない児童に体を動かして遊ぶ楽しさを味わわせ、運動能力向上への意欲につなげていく。</li> <li>・取り組ませる運動遊びを「誰でも取り組み、楽しめる」視点から吟味し、体育学習の中に毎回盛り込む。</li> </ul>